

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 5年 2月 24日

事業所名 放課後等デイサービスぶりんぐあつぷ 保護者等数(児童数)13名 回収数 13件 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	0	0	さらに充実した活動スペースを確保できるように努めます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2	0	1	より専門性のある職員を配置できるよう努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	8	0	2	スロープや手すりの拡充に努めます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	0	0	0	保護者様の相談に応じて継続して計画していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	0	活動の見直しをさらに柔軟に対応していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	4	2	コロナ禍で機会を自粛していましたが、社会状況に応じて取り組んでいきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	0	0	説明の機会をモニタリングの際に必要なに応じて設けます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	0	1	1	継続してLINE活用などで共有していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1	0	1	随時、個別にて対応に努めます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	5	3	コロナ禍で機会を自粛していましたが、社会状況に応じて取り組んでいきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2	0	2	苦情受付担当者の指導や研修の機会を設けてサービス向上に努めます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	0	継続してLINE活用などで共有していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	0	1	継続してLINE活用などで共有していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	11	0	0	2	守秘義務の研修などで職員教育を徹底していきます。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	2	0	4	施設内で見える化に努めます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1	0	1	毎月の避難訓練実施を継続していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	1	0	継続して楽しい施設を目指していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	12	1	0	0	継続して支援内容の充実に努めます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。